

製品名: リン酸化 p38 (Thr180/Tyr182) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab01390

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK14 MAPK14; CSBP; CSBP1; CSBP2; CSPB1; MXI2; SAPK2A; Mitogen-activated protein kinase 14;
別名	MAP kinase 14; MAPK 14; Cytokine suppressive anti-inflammatory drug-binding protein; CSAID-binding protein; CSBP; MAP kinase MXI2; MAX-interacting protein
遺伝子 ID	1432
SwissProt ID	Q16539
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

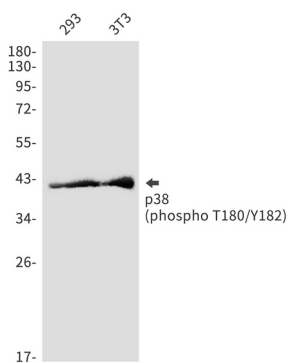
背景

環境ストレス、炎症性サイトカイン、リポ多糖（LPS）による活性化に対し、ELK1 や ATF2 などの転写因子、および MAPKAPK2 や MAPKAPK5 などの下流キナーゼをリン酸化することで応答する。IL-6 などのサイトカインの産生において重要な役割を果たしている。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



リン酸化 p38 (Thr180/Tyr182) 抗体を使用した 293、3T3 溶解物中の p38 (リン酸化 T180/Y182) のウエスタンブロット分析。